

# 香川県交通需要予測調査

香川県交流推進部交通政策課

# 「香川県における鉄道の利用促進方策」の経緯

全国に先駆けて人口減少の進む四国では、鉄道事業者の経営努力のみでは、現在の鉄道ネットワークを維持することが将来的に困難になると想定されることから、四国四県、学識経験者、経済界、労働界、国、事業者等の地域の関係者による議論が進められてきた

## 四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会

平成22年4月～ 国や四国4県、経済団体、事業者等で中長期的な視点からネットワークの将来像とその実現方策について議論

平成23年7月 「四国鉄道活性化への提言」をとりまとめ

### 【提言内容】

- ①本四間の広域的な交流の拡大
- ②四国の都市間連携の強化
- ③人や環境にやさしい都市圏の形成
- ④過疎化、高齢化等の課題を抱える地域の活性化・住民の足の確保

## 四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ

構成員 正司健一神戸大学教授(座長)、青木真美同志社大学教授、大内雅博高知工科大学教授、土井健司大阪大学教授、吉井稔雄愛媛大学教授、四国運輸局長、四国地方整備局長、四国4県知事、四国市長会会長、四国町村会会長、四国経済連合会会長、四国商工会議所連合会会長、労働組合団体代表、四国鉄道協会会長、JR四国社長 18名

平成29年8月 設置

令和元年10月 「中間整理」取りまとめ

### 【概要】

四国が目指すべき公共交通ネットワークの将来像として、「新幹線を骨格とした公共交通ネットワークの構築」が示され、その実現に向けて、「JR四国の経営努力」や「国の役割・関与」、「地域における利便性向上や利用促進の取組み」が位置付けられている。

## 「香川県における鉄道の利用促進方策」策定(令和2年9月)

### 地域が目指すべき将来像

四国の新幹線を骨格とした公共交通ネットワーク

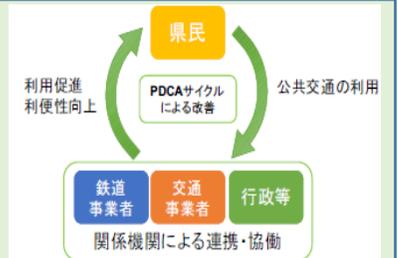
利便性と結節性に優れた持続可能な公共交通ネットワーク

### 概要

・鉄道事業者、交通事業者、行政等の関係者が取り組む様々な施策を体系的に取りまとめたもの  
 ・「持続可能性の確保」、「利便性の向上」、「利用促進等」の3項目で整理

### 推進方法

- (1) 関係機関の連携・協働
- (2) PDCAサイクルを通じた進行管理
- (3) ワーキンググループ等の開催



## 香川県地域公共交通確保維持改善協議会

### 香川県鉄道ネットワークあり方懇談会 (香川県地域公共交通確保維持改善協議会 部会)

令和元年10月 四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱで示された中間整理の項目に沿って、利便性向上や利用促進などについて協議・調整を図る目的で設置

会長 大阪大学大学院工学研究科 土井健司教授  
 構成員 国、県、市町、経済団体、交通事業者など

検討項目

検討結果の報告

### 香川県鉄道ネットワークあり方懇談会ワーキンググループ (香川県地域公共交通確保維持改善協議会 ワーキンググループ)

利便性向上や利用促進などについての施策の策定に当たり、具体的な案の検討を進めるためにワーキンググループ設置  
 「香川県における鉄道の利用促進方策」では、ワーキンググループを随時開催して、より実効性のある施策の立案ならびに実現に向けて、協議・検討を行うこととしている

座長 香川高等専門学校 宮崎耕輔教授  
 構成員 国、県、市町、交通事業者などの実務担当者

# 香川県における鉄道の利用促進方策の主な取組み(令和3年度)

## (1) 持続可能性の確保

### 【四国の新幹線の早期実現に向けた取組】

- ・ R3.12.24 四国の新幹線勉強会開催  
「21世紀の新幹線-まちづくりの考え方と課題」  
参加者：会場・オンライン併せて約200名
- ・ R4.3.24 シンポジウム開催  
「四国の新幹線の意義・効果とまちづくり」  
参加者：会場・オンライン併せて約400名



### 【駅を中心としたまちづくり】

- ・ R3.11.6 ことでん伏石駅グランドオープン
- ・ R3.11.7 バス路線再編(高松市・ことでんバス) 路線バス2路線(太田駅サンメッセ線・レインボー循環バス)、高速バス1路線(徳島行)が伏石駅結節となった。
- ・ 立地適正化計画の策定(R3.3~)



観音寺市	さぬき市	三豊市
------	------	-----

- ・ 地域公共交通計画の策定(R3.3~)

丸亀市	さぬき市	東かがわ市	三豊市	土庄町	小豆島町
-----	------	-------	-----	-----	------

## (2) 利便性向上

### 【交通モード間の利便性向上・機能強化】

- ・ R3.8.23~11.29 グリンスローモビリティ実証運行(東かがわ市)  
JR引田駅乗入、鉄道との接続を意識したダイヤ設定
- ・ GTFS整備：琴参バス(一部→全部)、大川自動車、小豆島オーリーブバス、三豊市

- ・ 交通系ICカード：小豆島オーリーブバス、小豆島町営バス三都線、豊島地区シャトルバス10カード導入



- ・ R4.3~三豊市コミュニティバスにGTFS-RTを整備(三豊市)
- ・ バスロケーションシステム導入に伴い、コミュニティバスの時刻、運行状況等を表示するデジタルサイネージをJR詫間駅に設置(三豊市・JR四国)

### 【交通結節機能の強化】

- ・ JR多度津駅のパークアンドライド駐車場の拡充(多度津町)

### 【利用環境の充実】

- ・ マリンライナー無料Wi-Fi整備(JR四国)
- ・ 185系特急車両のトイレ洋式化(JR四国)



## (3) 利用促進等

### 【地域経済対策・健康福祉政策との連携】

- 高齢者等へのタクシーチケット等の交付  
丸亀市・坂出市・観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市  
土庄町・小豆島町・三木町・宇多津町、綾川町、多度津町、まんのう町

### 【公共交通利用促進活動】

- R3.12.4 公共交通利用促進キャンペーンをイオン綾川で開催(香川県、JR四国、ことでん、ことでんバス、琴参バス、大川自動車等)



### 【観光・インバウンドによる利用促進】

- 四国DC(R3.10~R3.12)への取組み(JR四国)
  - ・ R3.4~R3.6 プレDCを開催
  - ・ 旅行会社へのセールス展開、JRグループと連携しや宣伝告知を実施
  - ・ 「くるりめぐろう四国旅モバイルスタンプラリー」の実施
  - ・ R3.11.30~12.3「四国一周号」を運転
  - ・ R3.12.25~12.26 WEST EXPRESS銀河 JR琴平駅乗入

# 交通需要予測調査の実施と活用

## 【内容】

- ▶ 県では、パーソントリップ調査（H24年度）を実施し、当該データをもとに、H25年度に交通需要予測モデルを構築しており、今回、そのモデルに、その後の交通需要に影響を及ぼす要素（人口減少,高齢化,社会経済情勢等）の変化を反映し、モデルを再構築する。
- ▶ なお、H25年度のモデルは、国内外の観光客等が含まれていないことから、今回のモデルでは含める。
- ▶ 更に再構築したモデルを用いて、鉄道や幹線バスなど県内幹線交通の将来需要の予測も行う。



H24 パーソントリップ調査



H25 交通需要予測モデル構築



R4 交通需要予測モデル  
【再構築】



R4 幹線交通需要予測  
(鉄道、幹線バス等)

- ・人口変動
- ・社会経済状況の変化
- ・コロナ後の行動変容
- ・観光客

## 【活用方法】

- ▶ 「香川県における鉄道の利用促進方策」の効果検証・取組みの改善
- ▶ 県や市町、交通事業者等における将来需要予測を踏まえた新たな施策の企画・立案

# 交通需要予測調査の概要

## ①交通需要予測モデルの再構築

H25に構築した交通需要予測に、人口変動やモデル構築後の観光客（インバウンド）の増加など交通需要の影響を及ぼす要素を反映する。

- ・人口：社人研の上位、中位、下位モデル及び「かがわ人口ビジョン」の本県が目指すべき人口の4パターンで推計
- ・PT調査（2010年）をベースに2019年、2030年、2040年の交通需要を推計
- ・人流データ：Agoopデータ（県全域、2019年8月・10月）を活用
- ・土地利用交通モデル分析システムはミュンヘン工科大学（ドイツ）の開発したシステムを利用し、PT調査の対象外である小豆島の交通需要予測にも対応する。

## ②幹線交通別の将来需要推計

①で構築した交通需要予測モデルを利用し、県内幹線交通の将来需要を推計。

県内幹線交通は鉄道6路線、幹線バス17路線

鉄道：JR高徳線、予讃線、土讃線、ことでん琴平線、長尾線、志度線

幹線バス：地域間幹線系統17系統

（ことでんバス8、琴参バス7、小豆島オリーブバス2、大川バス1）

### ③施策の効果検証

①及び②を基に、「香川県における鉄道の利用促進方策」に記載の事業等について、施策を行った場合に、交通需要にどのような影響を及ぼすのか効果を検証する。

#### 香川県における鉄道の利用促進方策ローリングプラン2022

区分	項目
(1) 持続可能性の確保	四国の新幹線の早期実現に向けた取組
	駅を中心としたまちづくり
	地域に合ったより良い公共交通の検討
	都市経営の視点から見る持続可能な取組
(2) 利便性向上	交通モード間の連携強化
	交通結節機能の強化
	輸送サービスの強化
	利用環境の充実
(3) 利用促進	地域経済政策・健康福祉政策との連携
	公共交通利用促進活動
	観光・インバウンドによる利用促進
	安全・安心の確保

令和4年度香川県交通需要予測調査は、国立大学法人香川大学創造工学部 紀伊教授に委託して実施中。

【今後の予定】

R4.12 県内幹線交通将来推計

R5.2 施策の効果検証

香川県鉄道ネットワークあり方懇談会等で報告予定